第９期瀬戸市高齢者福祉計画・介護保険事業計画　評価表（令和８年度中間評価）

基本目標４　つながり支え合い、尊厳を持って暮らせる地域社会の実現

評価項目	年間 目標値	中間 実績値	数値 達成度	事務局 総合評価
生活支援コーディネーターによる地域の新規居場所把握件数	６件	３件	△	B
	R7 中間評価	２件	×	C
	目標未達成。生活支援コーディネーターが中心となり、地域の居場所を広めている。			
見守りネットワーク協定締結事業者数（累積）	70 件	67 件	○	C
	R7 中間評価	67 件	○	C
	締結事業者数を維持できており、高齢者等の異変の早期発見や安否確認につながっている。			
地域ケア会議開催数（年間合計）	８回	４回 (R8.9.30 時点)	△	B
	R7 中間評価	４回	△	B
	中間実績が少ないが、今後、全地域包括支援センターが年間１回以上の実施を予定している。			

【 数値達成度 （対目標値） 】

◎　100%以上の達成度合

○　75%以上 100%未満の達成度合

△　50%以上 75%未満の達成度合

×　50%未満の達成度合

【 総合評価 （目安） 】

A　優れた創意工夫等を行い、目覚ましい効果を上げることができた

B　創意工夫等を行い、一定程度の効果を上げることができた

C　課題解決に向け、改善に取り組んでいるが不十分である

D　課題が解決されず、効果が上がっていない

総合評価
B

担当部署コメント

生活支援コーディネーターによる地域の新規居場所把握件数について、参加者アンケートの集計結果より、居場所の必要性、「ここに来ると安心できる」「自分の居場所がある」という参加者の充足感等を確認することができ、今後の居場所づくりの指標ができた。協議体で挙げられた課題を基に、生活支援コーディネーターの活動周知を図り、マッチングしやすい体制整備を進めていく。
見守りネットワーク協定締結事業者数について、高齢者の見守り体制強化を継続しながら、新規事業者との締結につながるよう、引き続き周知に努める。
地域ケア会議については、全地域包括支援センターが年間１回以上の実施を予定して

おり、困難事例等の協議をとおし、地域課題の抽出や課題解決策の検討に積極的に取り組んでいる。

評価委員会評価

生活支援コーディネーターによる地域の新規居場所把握件数について、すでに居場所は頭打ちになってきている可能性があるため、引きこもりがちな高齢者が地域に出て、フレイル予防をしていくという目的に沿うよう、第１０期計画では、把握したものを継続していくような計画にしていただきたい。
見守りネットワーク協定締結事業者数について、多様な事業者にご協力をいただいており、事業者数を増やしていくことは難しい現状が伺える。今後は、安否確認等の適切な対応につなげるための連絡体制を強化するという目的に沿い、事業者の現場の方々に対して事業について周知するなどの取り組み等を検討してほしい。